

JICA海外協力隊プロフィール

安藤 義隆（あんど う よしたか） さん

海外協力隊種類：海外協力隊

派遣国：ドミニカ共和国

配属先：国立がん研究所

（ロサ・エミリア・サンチェス・ペレス・デ・タベラス）

職種・指導科目：コンピュータ技術

出発時住所：三重県四日市市

予定されている活動内容：

1. 腫瘍登録、医薬品安全性監視、がんの適時発見プログラムのデータベースの更新、新規データの登録作業のプロセスの最適化への支援。
2. 当病院でがん治療を受けた患者の医療に関する統計報告書の作成への支援と助言。
3. がんに関する臨床研究の発展におけるデータ開発・改善分野への支援と助言。
4. 他に配属先から要望のあった活動。

活動内容と抱負：

以前、ベトナムでの工場立ち上げでの海外勤務を経験した際、彼らの仕事に対する情熱、考え方から大きな刺激を受けました。

それ以来、機会があれば海外で働きたいと思っていました。今回の要請をみて、これまでの経験が生かせる内容であると考え応募しました。

今回の派遣先は国立がん研究所であり、配属先はナレッジ管理・研究部門です。

国内（ドミニカ共和国）のがんの進行に関する新たな知識や症例を管理しながら、国内・国際的な新しい治療方針などの知識を取り込んでがんの予防と治療のための新しい方法を提案している部門です。

現在、病院内の各端末から集まる医療情報、画像データ、検体データを一元的に管理するシステムを前任者の隊員が構築し、稼働しています。しかし、安定運用には課題が多くあり、継続的な隊員の活動を配属先は希望しています。今回の活動はナレッジ管理・研究部門、総務部門、情報通信技術課と連携してシステムの改修、改善活動を行います。

JICA 海外協力隊プロフィール

村井 朝香（むらい あさか） さん

海外協力隊種類：青年海外協力隊

派遣国：ガーナ

配属先：ガーナ灌漑開発公社 ウェタ事務所

職種・指導科目：食用作物・稲作栽培

出発時住所：愛知県春日井市

予定されている活動内容：

配属先が管轄する地域の水利組合の設立・強化に向けて、配属先同僚、水利組合、農家と一緒に以下の活動を行う。

1. 水稻栽培、収穫後の脱穀・乾燥・精米・包装などに関し、生産性・品質の向上を支援する
2. 稲作に関する各種試験の実施、稲作栽培にかかるデータ収集、周辺農家への技術的な助言等を行う
3. 水利組合の管理運営能力強化（組合費の管理、記録、水路定期清掃など）を支援する
4. 水利組合・農民自身によるコメの販路開拓（市場調査、中間業者との関係構築など）を支援する
5. 任地にある課題を抽出し、解決するために関係機関・JICA 事業（GRIP 等）と緩やかな連携をしながら配属先を巻き込んだ活動を実施する

活動内容と抱負：

アフリカの多くの地域では人口増加に伴う食料需要の増大に生産が追いついていない現状を知り、農業分野での国際協力に携わりたいと考えようになりました。この思いから、大学では水稻の研究に取り組み、基本的な水稻の知識や栽培の経験を積んで参りました。私の所属している三重大大学と JICA は、ガーナで実施中の技術協力プロジェクト「Grana Rice Production Improvement Project（以下 GRIP）」に対して三重大大学の学生や卒業生を海外協力隊として派遣することで合意しました。私はその第二陣としてガーナへ派遣されます。私の任地では、ダムを水源とした灌漑設備が整備されていますが、その維持・管理が課題となっています。そのような状況で、水利組合による自律的な水路維持・管理活動の支援が必要です。また、農家さんの生活向上のため米の販路拡大・高付加価値化、灌漑開発公社本部を含む各所関係機関との連携強化などに取り組めます。